

みどりとともに

大瀧 典夫 会長筆

第 8 号

2004年 1 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号

林業会館 3 階



「紅 霧」

も く じ

新年のごあいさつ	2
各種標識・案内板等の配布	3
御前山における林道整備 御前山村	4
森林整備の充実 七会村	5
文化を育む森づくり	6
協会だより	7
協会の主な動き	8



新年のごあいさつ

(社)茨城県治山林道協会会長 大瀧 典夫



新年あけましておめでとうございます。
皆様には、2004年の輝かしい新春をお健やかに
お迎えのこととお慶び申し上げます。

また、治山・林道事業の推進につきましては、
会員の皆様方に格別なご支援ご協力を賜っており
ますことに改めて感謝申し上げます。

さて、わが国の経済は長期にわたる低迷が続く
各方面で厳しい対応を迫られております。森林・
林業を取り巻く環境につきましても依然として厳
しい状況が続いております。

林野公共事業を巡る厳しい予算環境の中、大変
危機感を強めているところです。

一方、国においては、地球温暖化防止をはかる
ため「地球温暖化防止森林吸収源十カ年対策」を

策定し、削減目標の達成は
森林に負うところが大きく、
森林に対する国民の期待は、
年々高まってきております。

しかしながら、森林・林業・山村を巡る情勢は、
かつてないほど厳しく、森林の持つ多面的機能の
持続的発揮を失うおそれがあります。

このようなことから、当協会は、治山林道事業
のさらなる発展と充実を図り、健全な森林の整備
・保全に努めてまいります。

最後に、会員の皆様のますますのご健勝、ご多
幸を心からご祈念申し上げまして年頭の挨拶とい
たします。

新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 中村 武雄



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させ、安
全で緑と水に恵まれた豊かな県民生活を実現する
ためには、間伐等による健全な森林を育成する
とともに治山ダム等の基盤整備を充実することが大変
重要です。

また、地球温暖化防止に寄与する二酸化炭素の
吸収と貯蔵や生物の生息環境を保全する機能など、
森林の持つ機能に対する県民の関心が高まり、期
待も多様化してきていることから、これらのニー
ズに答えていくことが喫緊の課題となっております。

こうした中で、国においては、平成16年度から
造林や林道事業を盛り込んだ森林整備事業計画を
拡充し、治山事業を加えた「森林整備保全事業計

画」を創設することとして
おります。また、県におい
ては、茨城県森林・林業振
興ビジョンとの整合を図り
ながら、造林や林道、治山事業を総合的かつ効果
的に推進し、森林の持つ多面的機能を高度に発揮
してまいりたいと考えております。

さらに、林野公共事業につきましては、社会経
済構造の変革の中で、一層の重点的な執行と透明
性の確保を図るとともに、地域林業の振興や循環
型社会の形成のために木材を積極的に利用してま
いりたいと考えておりますので、皆様方のより一
層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上
げ、新年のごあいさつといたします。

公共事業の普及啓発

各種標識・案内板等の配布

治山事業、林道事業の意義を、広く皆さんに知って頂くため、治山施設や林道の利用を通して、森林の豊かさ、大切さを体感し、実施した事業が、ひとりひとりの共有の財産であるとともに、「私も森林を守り、育てているんだ!」と、より多くの人に認識されるよう、努めているところでございます。普及・啓発事業の一環として、これらの事業内容を記した、各種案内板・路線名、規格構造、通行上の注意事項等を記した、標識板・警戒標識・カーブミラー等々を少量つつではあります、配布しているところでございます。

平成15年度の配布実績は、次のとおりです。

- ◎案内・標識板 18基
- ◎注意・表示板 17基
- ◎警戒標識・視線誘導標 152基
- ◎保安林標識 27基



美和村の林道

このように、路線名、規格構造、通行上の注意事項を記した標識板を、起点・終点に設置する事により、利用する皆さんが林道である事を認識し、安全に通行出来るよう促すものです。また、森林・林業に携わる人、その地域に暮らす人達はもと

より、一人でも多くの皆さんに利用して頂く事で、その「効果と必要性」を、イメージとしての感覚から、具体性のある、より身近なものとして捉えて頂けるのではないかと思います。



カーブの先は対向車

自然環境・生態系に及ぼす影響に留意を払い、森林のもつ公益的・多面的な機能を、更に向上させる事を目的として配置される林道は、可能な限り地形に沿って作られ、「ムリ・ムダ」をそぎ落した形状になっています。必然的に、見通しのわるいカーブが、「たくさんあります」。

目的に応じて、形態は様々ですが、集落間を結び、地域生活と密接な係りをもつ林道も、少なくありません。利用される皆さんにとって、カーブミラーの設置が、安全性の向上に、少しでも役立てばと考えております。

何事に於いても、高速化の今日ではありますが、「自然とのふれあい」を楽しみ、たまにはゆっくり走ってみませんか。

これからも、各種標識・案内板等について、逐次お知らせして行きたいと考えております。



町から村から

御前山における林道整備

御前山村建設課

御前山村は、茨城県の西北部に位置し、栃木県芳賀郡茂木町に接する山間地域であり、村の中央には那珂川が流れ、それをはさみ、北は鷲子山塊、南は鶏足山塊に属する標高100m～300m前後の山林が占める豊かな農山村です。

村の林野面積は、2,689haで、国有林が588ha・民有林が2,083haです。

村では、平成11年度に策定した御前山村森林整備計画に基づき、人工林の健全な育成と保全を図るため造林・保育や間伐を促進し、林業の振興、林道の整備を進めてまいりました。

しかし、林業を取り巻く情勢は、木材価格の低迷、非木造住宅の増加、林業労働力の不足などにより林業経営意欲が減退し、山林の荒廃化、林業生産活動の鈍化傾向が続いています。特に、本村では、特用林産物であるしいたけ栽培農家が、高齢化、後継者不足により年々減少している傾向にあります。

こうした状況を踏まえ、森林管理や林産物搬出の向上を図るため、村では、計画的な林道網の整備を進め現在、12路線を管理するほか、3路線の開設、改良事業を行っております。



林道「岩の沢線」開設工事



林道「膳部沢線」開設工事

林道「岩の沢線」(L=1,740m W=4.0m)は平成7年度から平成15年度事業として工事を進め、今年度はL=34mの開設工事をを行い、既設村道に接続し、全ての延長が完成することにより、森林整備、林業振興により一層の効果が期待できます。

林道「膳部沢線」(L=1,400m W=4.0m)は、平成14年度から平成20年度までの計画で工事が進められ、今年度事業については、L=146mの開設工事が進められています。

また、山村振興事業の一環として、林道「岩の沢線」、「古屋の沢線」の舗装工事を、平成15、16年度の2ヶ年事業として計画しており、本年度は、2路線で約L=2,000mの舗装整備をいたします。

これらの、林道を整備することにより、道路網の少ない同地区山林の森林整備、特用林産物であるしいたけの生産力向上など、木材生産の基盤として重要な役割を果たすと考えられます。

また、林業振興の重要路線、集落間を結ぶ幹線道路として、今後も、林道の計画的な整備、改良を行ってまいります。



町から村から

森林整備の充実

七会村産業課

七会村は、県の北西部に位置し、県都水戸市から25km圏内にあります。地勢は、東西方向に8km、南北方向に約10km、面積は63km²で周囲は八溝山系の標高300~400の山が連なり、総面積の77%を山林が占め、藤井川・洄沼川の分水嶺となっています。



周囲のやまなみ

本村の森林は、地域住民に密着した里山から、森林生産活動が積極的に実施される人工林帯、さらには大径木の広葉樹が林立する天然性の樹林帯までの、バラエティーに富んだ林分構成になっています。林業は構造的に林業生産基盤の整備、労働力の減少・高齢化・後継者不足・林業諸経費の高騰により、きわめて厳しい状況にあります。

こうした状況に対応し、林業の合理的経営と所得の増大を図るため、昭和45年より林業構造改善事業等を導入し、今年までに林道17路線・間伐作業道38路線の整備を行ってまいりました。他に特用林産物である「しいたけ生産」についても、施設機械等の整備を促進し、生産性の向上に推進してきました。

以上の諸事業に取り組んできましたが、近年、林業採算性の悪化により林業生産の停滞や、森林所有者の高齢化等により、適時適切な森林施業が行われなくなっています。そのため、今年度から森林整備地域活動支援交付制度を受け、森林の生産を主体としながら、森林の有する多面的機能の発揮を図るため進めてまいります。

現在、活力ある村を構築させる方策として、地元林産材の活用は「地元林業の活性化」にも繋がりますので、利用の促進を図るため、村営住宅の建設を実施しています。平成14年度に、1期分5棟10戸を建設し、その後も逐次事業を推進していきます。



地元林産材を活用した「村営住宅塩子塙団地」

これからも林業・木材生産等の経済も活発化し、国土の形成・水源かん養・生物の保全等、多面的な機能を有している森林を、植林や間伐などにより山を整備し、山から災害の原因を除くよう努めてまいります。

森林のネットワーク



文化を育む森づくり

(社)茨城県林業協会

わたしたち日本人は、はるか縄文の時代から森とともに暮らしてきました。森は住居となる木材や暮らしの糧となる食料など多くの恵みを与えてくれます。また、聖なるところ、心のよりどころとして、日本文化の熟成に大きな影響を与えてきました。

豊かな森と、それを生活に利用する技術が長年にわたって伝承されてきた日本の文化は、世界に誇る法隆寺、東大寺など重要文化財に指定された建造物の多くが木造であることをとって、森と人とが育んだ「木の文化」だといえます。そして、近年まで、木材を利用しながら森を守り育てていくというわたしたちと森の近い関係は、続いていました。

しかし、昭和30年代以降の高度経済成長とともに、生活様式の大きな変化にともなって、木材や木製品が身の回りから遠ざかってしまいました。このため、わたしたちが育んできた「木の文化」が過去のものとなりつつある状況が生じ、その結果、わたしたちと森の関係も大きく変貌してしまいました。



全国植樹祭会場の下草刈りをする森づくり会員

このような中、今日では、森林の荒廃や温暖化など地球環境問題が大きな課題となっています。本来、森林は、二酸化炭素と太陽エネルギーを基に木材などを生産するほか、地球環境や身近な暮らしを守る様々な機能や可能性をもっています。わたしたちは、森林と積極的に共生する社会を構築し、森林の様々な恩恵を現在及び将来の世代が受けることができるよう、森林との関係を今日的視点で見つめ直していく必要があります。



持方牧野に広葉樹を植える参加者

このようなことから、林業協会では、いま一度、わたしたちと森林との関係を近いものとするため、県民の皆さんに「森づくり会員」への加入を呼びかけ、県民参加の森づくりを進めています。今年度は、これまでに、潮来市での全国植樹祭会場の下草刈りや、水府村持方牧野を広葉樹の森に再生する植樹作業を実施してきました。森づくりは少なくとも一世代から数世代にわたっての取り組みが必要となる息の長い仕事です。林業協会では、「木の文化」を過去のものとしなないためにも、今後、県民参加の森づくりを積極的に展開してまいりたいと考えておりますので、多くの皆さんのご協力をお願いいたします。

協会だより

1. グリーンフェスティバル2003

平成15年度のグリーンフェスティバル2003が、平成15年10月25日(土)から11月3日(月)の10日間、那珂町の茨城県植物園、茨城県林業技術センター等で開催されました。期間中の11月1日には、フェスティバルの記念式典が催され、平成15年度林業関係各種コンクールの表彰式等が行われました。主催者を代表し、中村武雄農林水産部長、茨城県林業協会の副会長を勤める大瀧典夫会長、茨城の森林を守る県民会議の石川多聞事務局長のあいさつがありました。

式典では、大会宣言決議、功労者表彰、各種コンクールの表彰、緑の少年団活動発表、森の聞き書き甲子園参加者レポートの紹介等が行われ、林道維持管理コンクールの表彰では、里美村の林道「三ツ目線」が、「茨城県治山林道協会会長賞」を受賞されました。また、林道「三ツ目線」は、平成15年11月28日、日本林道協会主催の林道維持管理コンクールにおいて、「日本林道協会会長賞」を受賞されています。

他に期間中、植物園秋祭り・もりもくフェア・特用林産物フェスティバル等が行われました。



大瀧典夫会長のあいさつ

2. 木材使用工事コンクール

民有林治山工事・林道工事を対象に、毎年木材使用工事コンクールを実施しています。また、入賞工事の中から、日本治山治水協会の実施する民有林治山木材使用工事コンクール・日本林道協会の実施する民有林林道木材使用工事コンクールに、参加資格の有する工事を推薦しました。

平成15年度入賞工事は、次の通りです。

** 治山・林道木材使用工事 **

☆ 茨城県知事賞

- ・地域防災対策総合治山 第1-1号

(株)椎名工務店

- ・国補林道開設事業 芳立線

(株)岡部工務店

☆ 茨城県農林水産部長賞

- ・復旧治山 第1号

(株)千葉工務店

- ・予防治山 第3号

大城建設(株)

- ・奥久慈グリーンライン林道 第6号

(株)大藤組

☆ 茨城県治山林道協会会長賞

- ・県単山地治山 第23号

(株)小貫工業

- ・県単海岸防災林造成 第3号

茨城県森林組合連合会

- ・予防治山 第6号

新星建設(株)

- ・奥久慈グリーンライン林道 第5号

(株)鈴木組

3. 民有林治山・林道工事コンクール

茨城県林業土木事業協同組合が、毎年実施しているこのコンクールに協力しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

協会の主な動き

- ↑ 7月2日
茨城県農林水産振興協議会通常総会（水戸市）
- 7月7日
「森林整備の推進と県産材利用促進」要望提出（茨城県外）
- 7月13日
県民参加の森づくり推進事業<下草刈り>（潮来市）
- 7月14日
治山林道工事等コンクール審査打合せ（水戸市）
- 7月18日～19日
林材業ゼロ災推進茨城県協議会現地研修会（宮城県）
- 7月22日
林業団体連絡会議（水戸市）
- 7月23日～25日
都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会治山林道技術研修会（東京都）
- 7月29日
第2回治山事業担当者会議（水戸市）
- 7月30日
林業動向情報研修会（水戸市）
- ↑ 8月8日
（社）日本治山治水協会理事会・通常総会・功労者表彰式（東京都）
- 8月12日
治山林道工事等コンクール審査会（水戸市）
- 8月18日
治山事業実施細則検討会（水戸市）
- 8月23日
北浦広葉樹の森<下草刈り>（北浦町）
- ↑ 9月3日～4日
第24回関東甲静地区治山林道協会連絡協議会通常総会（群馬県）
- 9月4日
県電子入札・電子納品説明会（常陸太田市）
- 9月18日
全国治山林道協会会長会議（東京都）
民有林振興会セミナー（東京都）
- 9月19日
治山林道コンサル業務研究会（東京都）
- ↑ 10月9日～10日
全国治山林道協会常勤役員会議（鹿児島県）
- 10月16日～18日
役員現地研修会・第2回理事会（沖縄県）
- 10月26日
第27回全国育樹祭（愛知県）
- 10月28日～29日
関東甲静地区常勤役員会議（群馬県）
- 10月30日
秋の緑の街頭募金（水戸市）
- ↑ 11月1日
グリーンフェスティバル2003（那珂町）
- 11月5日
林業団体連絡会議（水戸市）
- 11月13日
県民参加の森づくり推進事業<植樹>（水府村）
- 11月20日～21日
農林水産振興協議会現地調査（岩手県）
- 11月28日
日本林道協会通常総会（東京都）
（社）日本治山治水協会臨時総会（東京都）
治山林道コンクール表彰式（東京都）
2003治山・林道のつどい（東京都）
- ↑ 12月9日～10日
北関東治山林道協会連絡会議（大洗町）
- 12月15日
第56回全国植樹祭茨城県実行委員会設立総会（水戸市）
- 12月17日
平成16年度林野公共事業推進本部（東京都）

「みどりとともに」

（年2回発行）

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 大瀧典夫

水戸市三の丸1丁目3番2号

林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp